

南海地震に備える

香川県防災局 乃田 俊信

〈8〉

防災対策の重要性

【防災への投資は無駄?】

防災にお金を使うのは、目先の利益が無く、一見無駄のようにも思えますが、果たしてそうでしょうか。

日本人は、四方を海に囲まれた外国から攻められにくい環境にあったため、昔から「水と安全はタダ」という潜在意識がありました。一方、隣国と陸続きで侵略の絶えなかった中国には、「百年兵を養うは、これ一日の為なり」ということわざがあります。いったん敵国から

侵略を受けると、一日で国が減び、多くの国民が犠牲となる恐れがあります。そのため、たとえそれが先のことであっても、「国と子孫の繁栄のためには、その一日のために、長い時間を掛けて備えなければならぬ」ということでしよう。

防災も同じです。天災は、容赦なく壊滅的打撃を与え、一日で多数の生命・財産を奪い、地域を破壊するのです。一方、災害に対する備えには、長い期間を必要とします。私たちは、災害に対して

今から備えなければならぬのです。

【防災対策が人の命を守る】

安全・安心には、経費・時間・努力を必要としますが、人の命を守り、災害に強い地域づくりには防災対策が不可欠です。その防災対策の良否が、被害の程度を左右



崩壊した阪急電鉄の線路の横を生活用品を求めて行き交う被災者たち 兵庫県西宮市若松町で1995年1月20日

します。十分な防災対策により、被害を半減し、特に「最も大切な人の命」を守ることができるようです。

そして、防災対策を実行に移す原動力になるのが「防災意識」です。04(平成16)年の台風等災害や国内外で相次いだ地震災害などで県民の防災についての関心

は高まってきていますが、「関心」だけでは時間がたてば薄らいでまいります。「関心」を「意識」まで高め、それを「実行」に移すことが必要です。

【次号のテーマ】

次号では、「香川県防災対策基本条例」の概要についてお話しします。

エピソード 阪神・淡路大震災 ④

【ありがた迷惑なことは】

約100日間の派遣活動間には、いろいろな事がありました。だが、一番迷惑に思ったことは政府の偉い人たちの視察でした。最初のうちは、回数も少なく、隊員も元氣付けられました。2月中旬以降、毎日のように視察団が来られるようになると、

ほとほと迷惑だと感じるようになりました。

なぜなら、私たちは視察のたびごとに、作業を中止して見せ場を作り、状況報告をしなければならぬからです。中には、集めたガレキの山を見て、「これは、何トン位あるかね」と質問されたことも……。

偉い人の辞書には、「ありがた迷惑」という言葉は載っていないのでしょうか。